

# 現地視察会について

---

## ストック効果の発現（観光客増）

### 道の駅「いちごの里よしみ」

＜埼玉県吉見町の説明＞

- ・ 圏央道整備等により、道の駅を訪れる観光客や、道の駅周辺の国指定史跡の入場者数が増加。
- ・ 神奈川県～群馬県の移動時の立寄りも増加。



## ストック効果の発現（民間投資の誘発）

### プロロジスパーク川島

- ・ 圏央道川島インター開通にあわせて進出した物流企業と意見交換。

＜プロロジス社の説明＞

- ・ アクセスの良さや周辺環境の点で、物流施設運営にとり良好な環境。将来的にも、広域管轄拠点としての立地ポテンシャル向上が予想される。



## 「賢く投資」

### 狭山日高 I C

- ・ ストレスのない道路料金所の構築に向けた取組の一環である、ETCレーンのバー開放運用実験を視察。



## 「賢く使う」

### 品川シーズンテラス

#### 【施設の高付加価値化】

- ・ 立体都市計画制度を活用し、上部空間を民間事業者へ貸し付け、P P P手法によりオフィスビルを整備。

#### 【未利用資源の活用】

- ・ 下水再生水をトイレ洗浄水等に活用。
- ・ 下水熱を空調熱源に活用。



## 生産性革命

### コマツIoTセンター

(コマツレンタル(株)美浜機械センター内)

#### 【社会資本整備を支える現場の生産性向上】

- ・ ICT建機やUAV(無人ヘリ)等を用いる、コマツ社のスマートコンストラクションを取材。
- ・ 実演見学ののち、委員が最新建機に試乗し、生産性向上に向けた企業の取組を体験。



ストック効果の発現（安全・安心）

## 首都圏外郭放水路

- ・中川・綾瀬川流域の洪水による浸水戸数を9割以上減少させた実績（注）を持つ治水事業の中核施設を視察。

（注）平成27年9月（台風18号等）時においては、昭和61年8月洪水と比較して、約1.1倍の雨量だったにもかかわらず、流域市町村における浸水戸数は約9割減少した（16,874戸→1,849戸）。



自治体首長・企業経営者との意見交換

## 意見交換会

＜自治体首長・企業経営者の声＞

- ・市は、部分通水（平成14年）時から首都圏外郭放水路周辺を産業指定区域に指定。企業を積極的に誘致した結果、28企業が新規進出。 [春日部市長]
- ・安全・安心の確保は、企業が立地を決める際の大きな要因の1つだ。首都圏外郭放水路があることで、倉庫（商品）の浸水被害が少ないと考え、春日部市に進出した。 [企業経営者]



「賢く投資」・「賢く使う」

## 九州地方のインフラ整備事業

【小さな投資で大きな効果】

- ・ 福岡空港再整備
- ・ 博多港クルーズ船対応岸壁及びクルーズセンター

【複数事業の一体的実施】

- ・ 熊本駅周辺鉄道連続立体交差事業、周辺再開発事業



経済界と意見交換

## 意見交換会

＜熊本商工会議所の声＞

- ・ 住民の生活基盤はもとより、観光基盤としても、インフラ整備は重要。
- ・ 地震からの復旧復興は、支援物資の輸送も、経済の回復も、インフラあってこそその話だ。



視察及び自治体・首長・地元企業との意見交換

## 熊本地震の現場

＜視察先（意見交換）＞

熊本城（熊本市）、益城町住宅被災状況（益城町町長）、西原村仮設住宅（西原村村長）、阿蘇大橋地区・阿蘇長陽大橋・南阿蘇鉄道（熊本県、南阿蘇鉄道株式会社）

